

TextSpeech 発表会タイマー 操作説明書

V1.02

1. 概要	2
2. プログラム.....	2
2.1. 実行環境.....	2
2.2. 音声エンジン	2
2.3. インストールファイル.....	2
2.4. インストール.....	3
2.5. アンインストール.....	3
3. 操作	3
3.1. 主画面.....	3
3.2. ベル設定	5
3.3. 音声設定	6
3.4. 設定情報の保存	6
4. トラブルシューティング	7
4.1. abnormal program termination エラー	7

1. 概要

発表会・講演会などの時間管理を目的としたタイマーです。発表時間、質問時間、超過時間をパソコン画面上にそれぞれアナログバーグラフ表示し、設定された時間になったとき、ベル音と音声で知らせます。ベル音は WAVE ファイルを出力したものです。音声はテキストをマイクロソフト Text-to-Speech 音声エンジンで出力したものです。WAVE ファイルと音声テキストはユーザで設定できます。アナログ表示のパソコン画面を 2 つのディスプレイで表示するなどして、発表者と時間管理者の双方が同じ画面を見られるようにして使用します。

2. プログラム

2.1. 実行環境

WindowsXP

スピーカが接続されていること。

音声エンジンがインストールされていること。

2.2. 音声エンジン

以下のマイクロソフトのサイトからダウンロードしてインストールします。

Microsoft Agent download page for end-users

<http://www.microsoft.com/msagent/downloads/user.asp>

(1) 音声エンジン基本部

SAPI 4.0 runtime support:

Download the Microsoft SAPI 4.0a runtime binaries (824 KB exe)

ファイル名 : Spchapi.exe (ファイルサイズ約 834 K B)

(2) 音声エンジン日本語部

Text-to-speech engines:

Download selected engine

Lernout & Hauspie@TTS 3000 TTS engine – Japanese(3MB exe)

ファイル名 : lhhttpsjpj.exe (ファイルサイズ約 3MB)

2.3. インストールファイル

● プログラムファイル

pplan.exe

pplan.ini

● Wave ファイル

SOUND01.WAV

SOUND02.WAV

SOUND03.WAV

2.4. インストール

専用ディレクトリを作成して、上記のインストールファイル一式をコピーします。

2.5. アンインストール

インストールで作成したディレクトリとファイルを削除します。

3. 操作

plan.exe をダブルクリックしてプログラムを起動します。音声エンジンが正常に初期化されると、「音声エンジンを初期化しました。」という音声流れます。

スピーカが接続されていない等の場合には、

abnormal program termination

というエラーとなります。

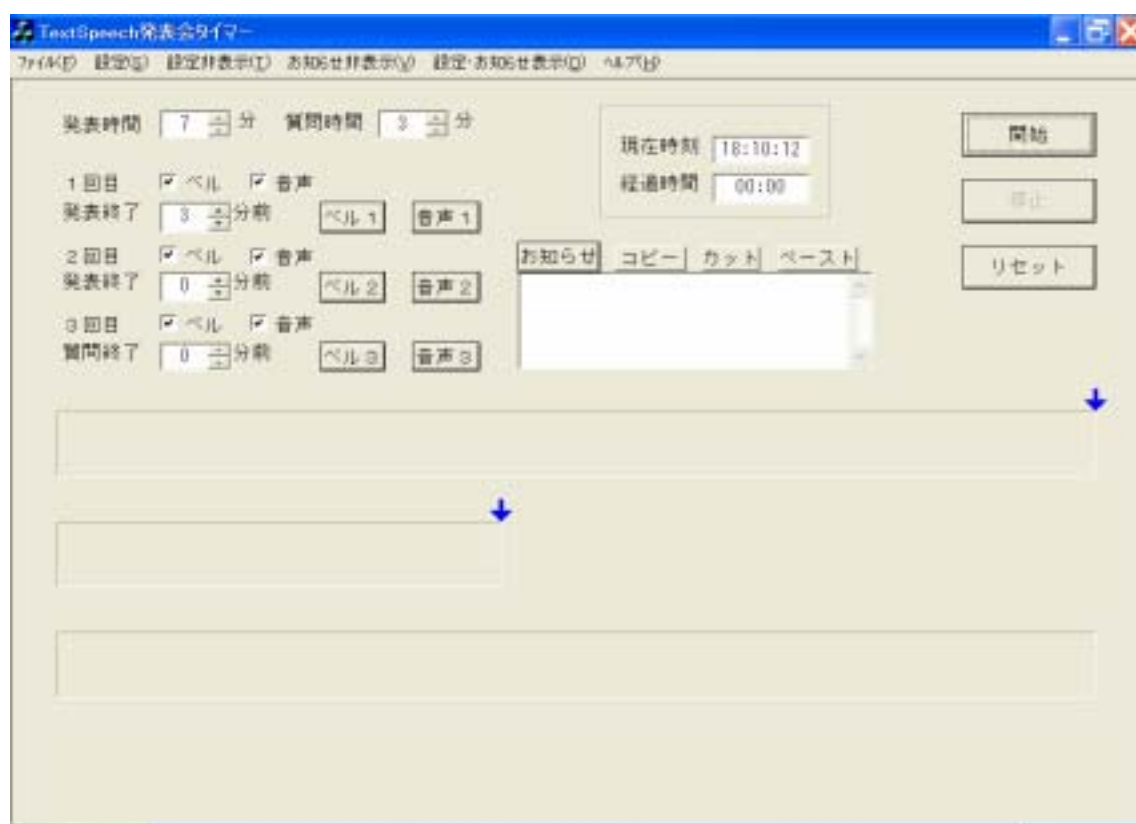
音声エンジンが正常にインストールされていない等の場合には

Cannot Initialize Speech Engine

のエラーメッセージが表示されます。

正常起動した後、画面を最大化して使用します。

3.1. 主画面



<メニュー説明>

ファイルメニュー

アプリケーションの終了： プログラムを終了します。

設定メニュー

ベルの設定： ベル音の WAVE ファイルとベル音の継続時間を設定します。

音声の設定： 音声内容をテキストで設定します。

設定情報の保存： 設定情報を保存します。

設定非表示メニュー

時間、ベル、音声の設定ボタン類を非表示とします。

お知らせ非表示メニュー

お知らせのボタン類を非表示とします。

設定・お知らせ表示メニュー

上記のメニューで非表示としたボタン類を表示します。

< 設定情報の説明 >

発表時間と質問時間を分単位で指定します。1 から 59 までの数値が入力できます。

1 回目のベルと音声を指定します。

1 回目のベルを鳴らす時間を、発表終了前の分単位で指定します。

ベルのチェックがついているとベルが鳴ります。

音声にチェックがついていると音声でも知らせます。

ベルと音声の双方にチェックがついているときは、ベル音が終了した後で音声で知らせます。

2 回目のベルと音声を指定します。

2 回目のベルを鳴らす時間を、発表終了前の分単位で指定します。

ベルのチェックがついているとベルが鳴ります。

音声にチェックがついていると音声でも知らせます。

ベルと音声の双方にチェックがついているときは、ベル音が終了した後で音声で知らせます。

3 回目のベルと音声を指定します。

3 回目のベルを鳴らす時間を、質問終了前の分単位で指定します。

ベルのチェックがついているとベルが鳴ります。

音声にチェックがついていると音声でも知らせます。

ベルと音声の双方にチェックがついているときは、ベル音が終了した後で音声で知らせます。

右側の、「ベル 1」、「音声 1」、「ベル 2」、「音声 2」、「ベル 3」、「音声 3」ボタンをクリックすると、上記の時間に関係なく、ベルあるいは音声を出力します。

<動作説明>

「開始」ボタンをクリックすると、タイマーをスタートさせます。

「停止・再開」ボタンをクリックすると、タイマーを一時停止あるいは再開させます。

「リセット」ボタンをクリックすると、タイマーとアナログ表示を初期化します。

発表会の進み具合は3つの棒グラフ（プログレスバー）で表示されます。

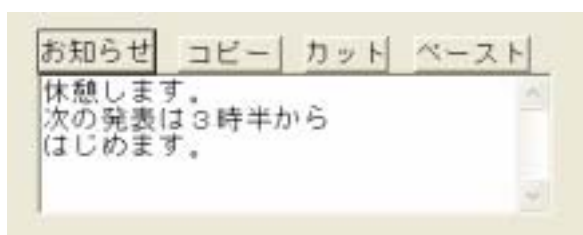
最上段は発表経過時間をバーグラフ表示します。画面一杯が設定された設定された発表時間です。時間の経過とともに進捗状況がアナログ表示されます。

中段は質問経過時間をバーグラフ表示します。矢印の位置までが設定された質問時間です。時間の経過とともに進捗状況がアナログ表示されます。

下段は超過時間をバーグラフ表示します。時間が超過しているとき経過時間がこのバーグラフにも表示されるようになります。

<お知らせ機能>

お知らせ内容をテキスト記入して、「お知らせ」ボタンをクリックするとテキストを読み上げます。



「コピー」ボタンをクリックすると、お知らせテキストの内容をクリップボードにコピーします。

「カット」ボタンをクリックすると、お知らせテキストの内容をカットします。

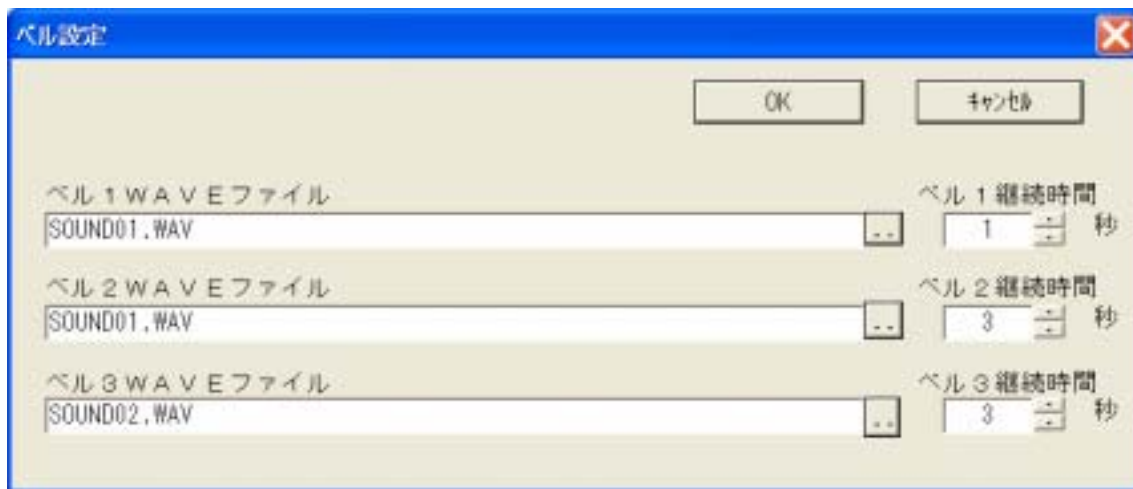
「ペースト」ボタンをクリックすると、クリップボードの内容をお知らせテキストのカーソルの位置にペーストします。

なお、現在時刻と経過時間の数値がテキストボックスに表示されます。

3.2. ベル設定

ベル音を WAVE ファイルで指定します。ファイル名の右のボタンをクリックすると WAVE ファイルが選択できます。指定した WAVE ファイルに対して、それぞれの継続時間を秒単位で指定します。

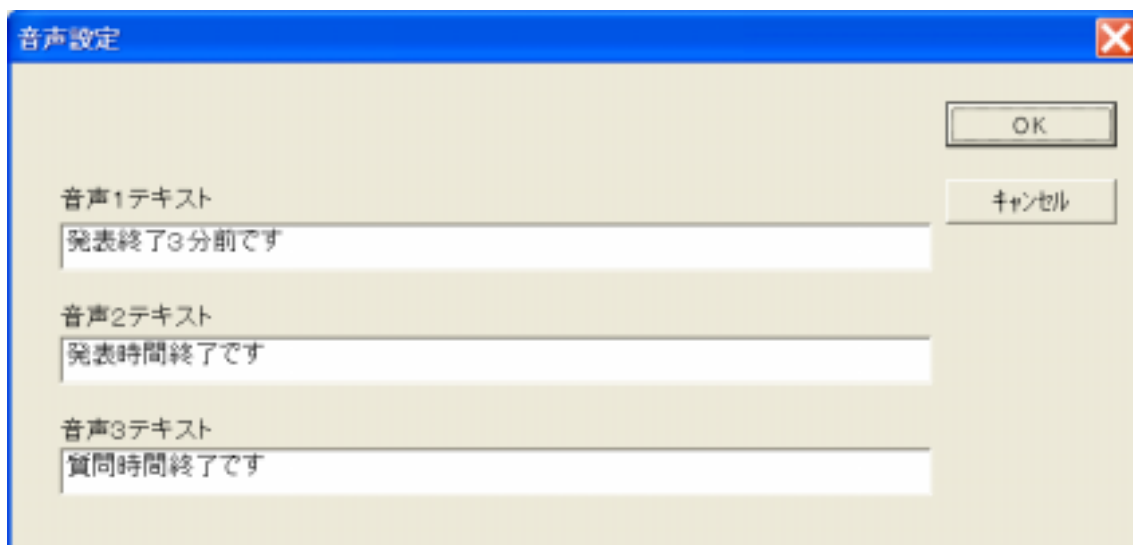
SOUND01.WAV、SOUND02.WAV、SOUND03.WAV の 3 つの WAVE ファイルが準備されていますが、好みの WAVE ファイルを新規作成してご使用ください。



OK ボタンをクリックするとベル設定が反映され保存されます。

3.3. 音声設定

読み上げる音声内容をテキストで指定します。



(注意) このテキスト内容と設定数値とは無関係です。発表終了3分間にベルが鳴るように設定されているときは、テキスト文書もそれに整合するように、例えば「発表終了3分前」と、記述してください。

OK ボタンをクリックすると音声設定が反映され保存されます。

テキストの入力は一行だけが可能です。

3.4. 設定情報の保存

ベル設定、音声設定を含めて、発表時間、質問時間などの全ての設定情報を保存します。次回にプログラムが起動されたときこの設定情報で初期化されます。

(注意)「お知らせ」のテキストは保存されません。

4. トラブルシューティング

4.1. abnormal program termination エラー

(原因)

以下の原因が考えられます。

音声エンジンが正常にインストールされていない。

スピーカが接続されていない。

スピーカの電源が一旦 OFF にされた。

(対策)

スピーカが原因であったとき、スピーカを接続し直ただけでは復帰しません。スピーカを接続し直した後、パソコンを再起動してください。プログラム起動後、「音声エンジンを初期化しました。」という音声が出るようになってはじめて正常動作します。